

1a. 経済活動とは何か？

活動としての経済

今回のキーワード

- ⌘ 経済
- ⌘ 物質代謝
- ⌘ 効率的・社会的運営
- ⌘ 生産・消費・流通
- ⌘ 市場社会と資本主義社会

1

2

今回の課題

- ✓ 経済とは一体なんなのか、3つのレベルでまとめる。
 1. どの人類社会にも共通なレベル
 2. 市場社会としての現代社会
 3. 資本主義社会としての現代社会

1. 生命活動

どの生物にも共通な活動

3

4

生命活動

- 生命活動
 - 必要なものを周り（＝自然）から手に入れて、不要なものを周りに返す
サイクル・リサイクルの活動（＝物質代謝）
 - それを通じて、自分を維持・再生産していく。
 - 現在の自分（＝個としての自分）
 - 次世代（＝種としての自分）

人間以外の生物の生命活動

- 生命活動
 - ≡ 物質代謝（⇒次回詳説）
- 生産と消費とが一致
- 自然と個体は一体のもの

生産＝消費

5

6

2. 経済活動

生命活動の, 人間に特有なやり方としての
経済活動

7

人類一般の生命活動

- 消費と生産とが分離
- 自然から個体（＝自分）が独立
- 物質代謝（＝生命活動＝生活）を
 - 自分自身で運営する，
↓ その結果として
 - 効率的・社会的に運営する。
- 自分自身で効率的・社会的に運営する生命活動
＝ 経済活動

生産

消費

8

人間と経済活動

- このように定義する限り，
 - 人間しか経済活動をしない。
（人間以外の動物は経済活動していない）。
 - 人間ならば，現代社会に限らず，
太昔から経済活動している。

9

先取り：後で論じます

生産と労働

- 生産と消費とが分かれたと言っても，
実は，生産そのものが，
この“自分”の独立を
達成させているわけではない。
- そうではなく，
生産において行なわれている労働こそが
“自分”の独立を達成させるのである。
- この労働の決定的な役割については，
次回に詳しく述べる。

10

例

例：共通——言葉では…

- Economy, economize
 - なによりもまず労働の節約
 - 効率的運営としての
経済活動
- 経世済民（経国済民）
 - 世の中と人々を上手く
治めること
 - 社会的運営としての
経済活動

効率的・社会的運営

どの人類社会にも共通

11

ただし——How？

- どのように効率的？
どのように社会的？
なのかは，時代に応じて違う。
- 平安時代と江戸時代とでさえ量的に
（＝程度問題として）違う。
- ↓ ましてや
- 前近代的共同体と現代社会とでは質的に
（＝決定的に）違う。

12

2.1 市場社会としての現代社会の経済活動

13

市場社会とは？

- われわれが享受する財貨・サービスの圧倒的大部分が市場向けに生産され、市場をつうじて流通しているような社会
 - 単に社会の中に市場があるだけじゃ駄目。市場によって支配されているような社会。

14

市場社会の歴史性

- 市場そのものは大昔からあった。
 - むしろ、人類の文明の多くは、市場の発生によって生まれた。
- しかし、市場がこのように社会を支配するようになったのは現代社会だけだ。
 - 江戸時代の日本は、江戸や大坂だけを見れば、あたかも市場社会であるかのように見える。しかし、日本全体を考えると、人口の圧倒的大部分を占めていた稲作農民はほとんど自給自足に近い生活をしていた。

15

市場社会としての現代社会

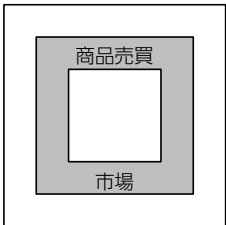
- 生産と消費との間に、市場での商品流通が入ってくる。
- 生産物の分配も市場での商品流通を通じて行なわれる。



16

市場社会——How?

- 市場を通じて
 - 効率的に
 - すべてのコストが貨幣表示で一元化
 - 社会的に
 - そもそも商品交換は一人ではできない

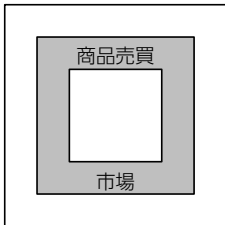


17

例

市場社会——言葉では…

- 旅客機のエコノミークラス
 - 労働そのものの節約ではなく、貨幣の節約
 - 貨幣の節約という形での労働コストの節約（安くするということは労働コストを減らすということ）



18

2.2 資本主義社会としての現代社会の 経済活動

19

資本主義社会とは？

- われわれが享受する財貨・サービスの圧倒的大部分が
(単に市場向けに生産され、
市場をつうじて流通しているだけではなく)
資本主義的営利企業によって生産され、
流通させられているような社会

20

資本主義的営利企業とは？

- 企業活動という点から見ると、
もっぱら金儲けのために設立され
(目的)、もっぱら金儲けを行っている
(手段) ような経済主体である。
- 企業組織という点から見ると、
できるだけ多く金儲けするために、
たくさんの従業員を雇用する。
- 自営業者(個人)やNPOは
資本主義的営利企業ではない。
☞『6a. 資本主義的生産』で詳説

21

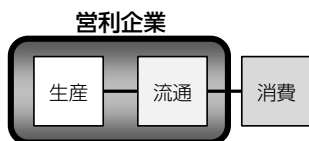
資本主義社会の歴史性

- 資本主義的営利企業そのものは
前近代にはなかったと言っていい。
- しかし、カネモウケの動機と活動は
前近代にもあった。
- しかしまた、それは江戸時代を見ればわかるように、
財貨・サービスの流通に限られていた。
かんじんのこの財貨を生産していたのは資本主義的
営利企業ではなかった(農業は百姓、工業の大部分は職人)。
☞『15a. 商業資本と商業利潤』で詳説

22

資本主義社会としての現代社会

- 生産および流通を
個人ではなく、
資本主義的営利企業が担うようになる。



23

先取り：後で論じます

市場社会と資本主義社会

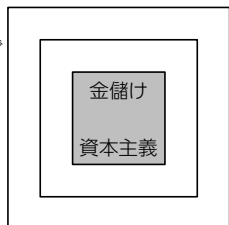
- Q** 市場社会 ≡ 資本主義社会？
- A** No. 商品を生産・販売する経済主体には個人(=自営業者)もある。
- Q** 市場社会 ⊃ 資本主義社会？
- A** Yes. ただし、後述するように、――
- 市場社会が想定するのは個人(=自営業者)
 - 市場社会と資本主義社会とは原理が正反対
 - 資本主義社会として初めて市場社会が成立

24

資本主義社会——How?

■ 資本主義的営利企業を通じて

- 効率的に
 - カネモウケのために
企業がイノベーション
 - 「10. 労働生産力の上昇」で
詳説
- 社会的に
 - カネモウケのために
市場を世界化
 - 企業の中に社会を形成
 - 「10+. イノベーションの
構成要素」で詳説

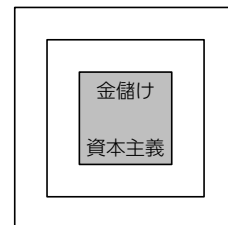


25

(例)

資本主義社会——言葉では…

- “俺たち慈善活動
してるんじゃない、
経済活動してるんだ”
- エコミック・アニマル



26

先取り：後で論じます

市場の原理

- 前近代的な共同体（イエとかムラとか幕藩とか）が崩壊し、個人が自立したということから生まれる。→個人主義
- 市場では、この自立した個人がタテマエ上、自由・平等な人格として契約を結ぶ。

27

先取り：後で論じます

資本主義の原理

- 資本主義的営利企業は、金儲けのためにたくさんの従業員を雇用し、組織化する。
→集団主義・組織主義
- 資本主義的営利企業に対して、従業員は
 - 実質的に不自由。
 - 実質的に不平等。
- 従業員が頑張っても、生み出した利益は企業に吸い取られ、従業員はそのおぼれに預かるだけである。

28

先取り：後で論じます

聞かずに市場の原理の方が 良さそうだけど…

- そうとは限らない。
- そもそも原理が正反対だと言っても、市場社会と資本主義社会とは不可分。
- 市場の原理である個人主義では、現代社会が達成した生産力の上昇と富の増大とは不可能。
- 金儲けのために人間も自然も社会もありとあらゆるものを資本主義的営利企業が搾取してきたからこそ、現代社会はこれほどまでに富を増やした。

29

先取り：後で論じます

やっぱり資本主義の原理の方が 良いのか？

- そうとは限らない。
- 自然や社会との調和なんか考えずに金儲けのためにただひたすらに富を増大させてきたからこそ、資本主義的営利企業は大規模な自然破壊と人間破壊（貧困、過労、失業など）とを引き起こしてしまった。

30

閑話休題：未来社会はどうなっていくの？

- 現代社会とは異なる未来社会の方向性は要するに、現代社会のいいところ取りの社会しかないとは私は考える。
- タテマエの自由・平等・所有ではなく、実質的な自由・平等・所有。
- 個人の豊かさと社会の豊かさとの間でバランスが取れているような豊かさ。
- しかしまた、このような課題の達成は現代社会、すなわち資本主義的市場社会では不可能だと私は考える。

参考

31

閑話休題：社会主義社会はどう評価するの？(1)

- 現存している（あるいはかつて存在していた）社会主義を名乗る国家は発展途上の資本主義、すなわち発展途上国が資本主義的に経済発展するためにとった戦略だと私は考える。
- その戦略は、民間だけでは十分な経済発展ができないから、専制的な国家が強力に市場と企業とに介入するというものである。
 - 現在先進的な資本主義国になっている国家の多くも、かつては（発展途上の時期には）多かれ少なかれ同じ目的の経済政策をとっていた。

参考

32

閑話休題：社会主義社会はどう評価するの？(2)

- このような一般論で考えると、共通点が多いとは私は考える。――
 - 現在、社会主義と名乗っている国家
 - 現在、社会主義とは名乗っていない開発独裁の国家
 - 現在では先進的な資本主義国になっている国家の、発展途上時期のかつての姿（ただしアメリカ、オーストラリアなどのような移民国家は除く）
- 違うのイデオロギー・宗教だけである。

参考

33

3. まとめ

34

経済活動の三つの意味

- 物質代謝を自分自身で効率的・社会的に行うということ
 - どの社会にも共通な経済活動
- 商品売買のこと
 - 市場社会の経済活動
- 営利活動のこと
 - 資本主義社会の経済活動

効率的・社会的運営

商品売買

金儲け

資本主義

市場

どの人類社会にも共通

35

今回の注意点

- ❖ 人間に限らず、どの生物も生命活動をしている（無生物はしていない）。
- ❖ 現代社会に限らず、前近代的共同体でも、人間は経済活動をしている（人間以外の生物は経済活動をしていない）。
- ❖ 現代社会は資本主義的な市場社会である。現代社会を特徴付けるような、現代社会に特有な経済活動をわれわれ現代人はしている（前近代ではしているとは言えない）。

36

今回のまとめ

- ❖ 経済活動とは、人間が自分自身で効率的・社会的に運営するような生命活動のことである。
- ❖ 現代社会は資本主義的な市場社会であり、それに特有な、効率的・社会的運営のやり方がある。
- ❖ 経済という言葉が多様な意味を持っているのは、経済という現実が重層的な構造を持っているからである。

37

予告

今後は…

- ◎ 現代社会の全体に近付くために、この順序で、経済活動を、その根本をなす労働に即して考察していく。——
 1. どの人類社会にも共通
【次回から】
 2. 市場社会としての現代社会に特有
 3. 資本主義社会としての現代社会に特有

38